

第3期日光市水道事業経営健全化計画の実施状況（総括）

「第3期日光市水道事業経営健全化計画」は、「第2次日光市総合計画前期基本計画」及び「日光市水道ビジョン」に定める水道事業の将来像の実現を目指し、経営基盤を強化するため、「歳入の確保」及び「歳出の抑制」について、それぞれ目標を設定し、その達成に向けて取り組むべき課題を定めたものです。

計画期間（平成28年度から令和2年度まで）に取り組んだ結果について、公表いたします。

1 実施状況について

経営基盤を強化するために2つの具体的な目標を掲げ、ともに目標を「達成」することができ、一定の成果をあげることができました。

具 体 的 目 標	達成 状況	目標値	実 施 状 況
		実績値	
		目標値との差	
令和2年度末の過年度徴収率 <u>29.5%</u> を目指します。	達成	29.5%	水道料金の収納対策として、給水停止、督促・催告の実施等により、令和2年度末の過年度徴収率は37.9%となり、目標を8.4ポイント上回りました。今後も、収納対策に引き続き取り組み、徴収率の向上や未収金の圧縮に努めていきます。
		37.9%	
		+8.4ポ ^ィ	
令和2年度までの施設維持管理費（原水浄水費及び配水給水費）の削減額累計 <u>50百万円</u> を目指します。 ※平成26年度実績額488百万円を基準とします。	達成	50百万円	計画的な施設の修繕により、施設維持管理費が、累計69百万円の削減となり、目標を19百万円上回りました。今後も、修繕計画に基づき費用の平準化を図るとともに、引き続き施設の統廃合等により、維持管理費の削減に努めていきます。
		69百万円	
		+19百万円	

2 今後の取り組みについて

これまでの経営健全化に向けた取り組みにより、平成28年度から令和2年度までの累積で1億9千万円の黒字となり、健全な経営を堅持することができました。しかし、給水収益の減少、老朽施設の更新・修繕費用など、事業経営は厳しさを増すことが予想され、一層の効率化と経営改善を図る必要があります。

今後は、令和3年3月に策定した日光市水道事業経営戦略により、引き続き経営基盤の強化に取り組んでいきます。